

日本都市計画学会顧問

武居高四郎博士の御逝去を悼む

本学会顧問で、京都大学名誉教授、武居高四郎先生は昭和47年8月9日京都市北区のお宅で逝去された。

先生は、大正6年京都帝国大学工科大学土木工学科を御卒業になり、大阪市ならびに内務省にあって都市計画の実務に従事された。その間米国ハーバード大学および英国リバプール大学において都市計画学を研鑽されて、最新の知識をもって帰朝し、勃興期にあるわが国の都市計画に新風をもたらされた。大正15年、京都帝国大学にわが国最初の都市計画の講座が開設されて間もなく、迎えられてその講座を担任され、以来昭和31年の定年御退官まで30年余の永きにわたり、幾多の俊秀を養成されると同時にその研究の蘊蓄を示して各地の都市計画を御指導になり、また、日本都市計画学会の創設にあたっては昭和26年より31年まで理事として尽力される等、斯界に貢献された先生の御功績は誠に偉大なものがある。

先生は天資明敏、加うるに倦むことを知らない研鑽によって広く土木工学の各分野を究められ、深い造詣と高い識見をもって後進を指導されたが、昭和13年「地方計画の理論と実際」と題する論文により工学博士の学位を受けられた。同書のほか著名は「都市計画図譜」や多くの著書と先駆的な研究を通じて都市計画学の確立に努められ、研究者として不滅の業績を残されたのである。

退官にあたり京都大学名誉教授の称号を受けられた後も広く活動されたが、昭和41年には都市計画に関するすぐれた功績により勲二等旭日重光章の叙勲の栄に浴された。これもひとえに先生の長年にわたる研究と教育の不滅の業績と実社会に対する偉大な御貢献によるものである。

今後ますます先生の頭脳を必要とするとき、長逝されたことはまことに痛恨の極みである。ここに謹んで哀悼の意を表し衷心より先生の御冥福をお祈り申し上げます。

(米谷栄二)